

学校 番号	66	学校名	飯田OIDE長姫高等学校
----------	----	-----	--------------

令和5年度学校評議員活用状況報告書

第 2 回学校評議員会

【令和6年1月19日（金）実施】

1 実施概要（協議研究事項を含む）

- (1) 全校課題研究発表会見学
- (2) 学校評議員会
 - ① 学校からの報告（学校長、進路指導係、定時制）
 - ② 協議事項
 - ③ 諸連絡

2 今回の実施に当たって工夫したこと

- ・総合技術高校としての取り組みの成果を評価していただくために全校課題研究発表会の見学後に学校評議員会を計画した。
- ・評議員が出席しやすいよう会議の開催通知を早めに郵送し、合わせて今年度の本校の各部署の取り組みをまとめた会議資料を事前に送付した。
- ・評議員会当日は学校側の報告を精選することで協議時間を確保し、評議員の方からより多くの意見をいただけるよう配慮を行った。
- ・今年度の生徒の活動が掲載された新聞記事をまとめた冊子「飯田 OIDE 長姫 Topics」を作成し、本校に対する外部評価の参考資料として活用をお願いした。

3 今回話題になった事項で特徴的なものとその概要

- ・全校課題研究発表会では例年同様に学校評議員の方に講評を担当していただいた。研究テーマの多様性、継続研究による内容の向上およびプレゼンテーション技術の大幅な進歩等を高く評価していただくとともに、卒業後の地域への貢献への期待について全校生徒に向けてお話をいただいた。
- ・課題研究テーマの1つである「鼎地区 ポプラに継ぐ鼎のシンボル」では鼎地区副区長の学校評議員の方のご協力をいただき研究を充実させることができた。

4 成果と課題（学校評議員会以外の活用状況を含む）

- ・進路実績についてはここ2年間の進学比率の増加傾向について係から説明があり、国公立大学合格者実績の向上について評価をしていただいた。また、就職者に対しては採用後の離職率の推移に注視し、企業側も働き方改革等高卒者の受け入れに一層努力が必要であるとの意見が出された。
- ・旧飯田工業高校と長姫高校の教育資産を統合し、地域の支援をいただきながら取り組んできた本校の10年間の教育活動の成果が課題研究の質の向上や高度資格の取得、運動系・文化系各種クラブの全校大会出場等にあらわれてきており、今後も地域との連携を一層充実させて更に発展の可能性を検討していきたい。